

釋雲巖 おんがん 僧侶。文政十年二月二十日出雲國生れ、明治四十一年四月十二日歿（一八二七—一九〇九）。本姓渡邊、幼名行一。天保七年剃髮、弘化元年高野山に入り修行。明治十七年十善會を興じ、機關誌「十善寶窟」を創刊。戒律主義を主張し、清澤瀨之等（註九）の影響を與へた。

著書「緇門止儀」（明治十二年四月真言宗法務所藏版、森江佐七（發））

「僧尼令」（内題「僧尼令第七一九貳拾添條」明治十四年五月十七日

真言宗法務出張所藏版）、「大日本國教論」（明治十五年八月真言宗

法務出張所藏版、同・自白僧園十善會藏版）、「佛教大意（訂正）」（

菩薩戒弟子集記、明治二十四年十一月二十八日十善會藏版、哲學書

院）、（明治廿六年）「夏期講習會佛教講話集」（合著・廣田一乘、伊藤賢道（註）、明治二十六年

十月二十日佛教學會）、（いさほの義解）「明治二十七年十一月十五

日鴻野社）、「日本民族總安心」（明治二十二年一月）千白白僧

園）、「佛教原論」（明治二十八年九月十九日博文館）、遺稿「佛教

通論」（沖田順海編、明治四十一年十一月十二日光融館）等。

田中清純著「戰場の花（雲龍律師滿韓巡錫誌）」（明治四十年四月五

日月刊）がある。

